

第6学年 「総合なかよし」学習指導案

1 単元名「この街の歴史、そしてこれから」

2 単元について

児童の実態

本学年の児童は、これまで地域について視点を変えて様々な学習を行ってきたことで、地域に対しての知識理解度は高い。

学年	学習題材	主な内容
3年生	みつけよう すてきな町のすてきな人	学校や地域のすてき探しを通して、この地域と自分との距離感を縮め、この町のすばらしさに気付くことができた。
4年生	みんなにやさしくらし	福祉を切り口にして、自分たちの周りに住む人や地域に興味をもち、将来の自分の生き方やこの街の在り方について自分なりの考えをもつことができた。
5年生	さいたま市どまんなか 河童の森	身近な遊び場である「河童の森」を守ろうとする人々の存在、そしてその人々の思いや願いに気付き、自らが地域社会の一員としての自覚をもつことができた。

一方で、最近のマンション建設を中心とする宅地開発で新しく転入してきた家庭が多かったり、生活の中の多くの時間を習い事に費やす児童が多かったりなど、地域とのつながりが希薄になっているのも事実であり、地域に対する愛着が高いわけではない。

そこで、もう一度自分たちの住む地域を見直す機会を設けることで、様々な立場の人々の地域に対する思いや願い、生き方を感じ取ることができるようにする。そして、多くの人々によって愛され、よりよい街へと変貌を遂げようとしているこの街に対し、愛着や誇りがもてるようにしたい。また、今までの自分よりもう少し広い視野をもたせ、自他の存在を尊重し、共感的に生きていこうとする子どもを育てていきたい。

これまで「ふれる」・「つかむ」過程で学びのある体験活動を意図的に取り入れてきたことで、課題意識をもって意欲的に活動に取り組むことはできている。しかし、調べたことを整理分析して現状を解釈したり、考えたりする力、そして自分の思いを相手に伝える力という点においては、まだ十分に身に付いているとは言えない。

単元の特性

政令指定都市として都市機能が集中するとともに、交通の利便性、商業施設の集中、生活サービスの充実など、首都近郊の中核都市として発展を遂げるさいたま市は、年々人口も増加傾向にあり、住民の満足度も高い。各民間機関が毎年発表している「住みたい街ランキング」にも、その評価は表れている。

しかし、客観的に他と比較するなどの経験がなければ、自分が住んでいる街の評価は知り得ない。児童にとって、この地域の便利さ、住みやすさは当たり前のことであり、この地域に住まうことのありがたさまでは認識できないのも当然である。

そこで、ランキングで常に上位に評価されるさいたま市のよさについて調べ、その要因を考えていく活動を通して、改めて今自分たちが住んでいる地域に関心をもたせ、自分もその一員であるという自覚をもたせていきたい。

また、学習を通して、この地域のよさは、初めから備わっているわけではなく、そこに住む人々が努力し形づくられてきたものであること、地域には自分の仕事に誇りと生きがいを感じ、困難を克服しようとする使命感をもって努力をしている人がいることなど、人やものを学びの対象とし、これからの自分の成長の糧となる生き方に触れさせたい。

そして、今自分が社会に対してできることを考えたり、将来の自分の仕事やさまざまな立場を通して、よりよい社会を築き、明るい未来を積極的に切り開いていこうとしたりする意欲や姿勢を育てていきたい。

3 研究の視点

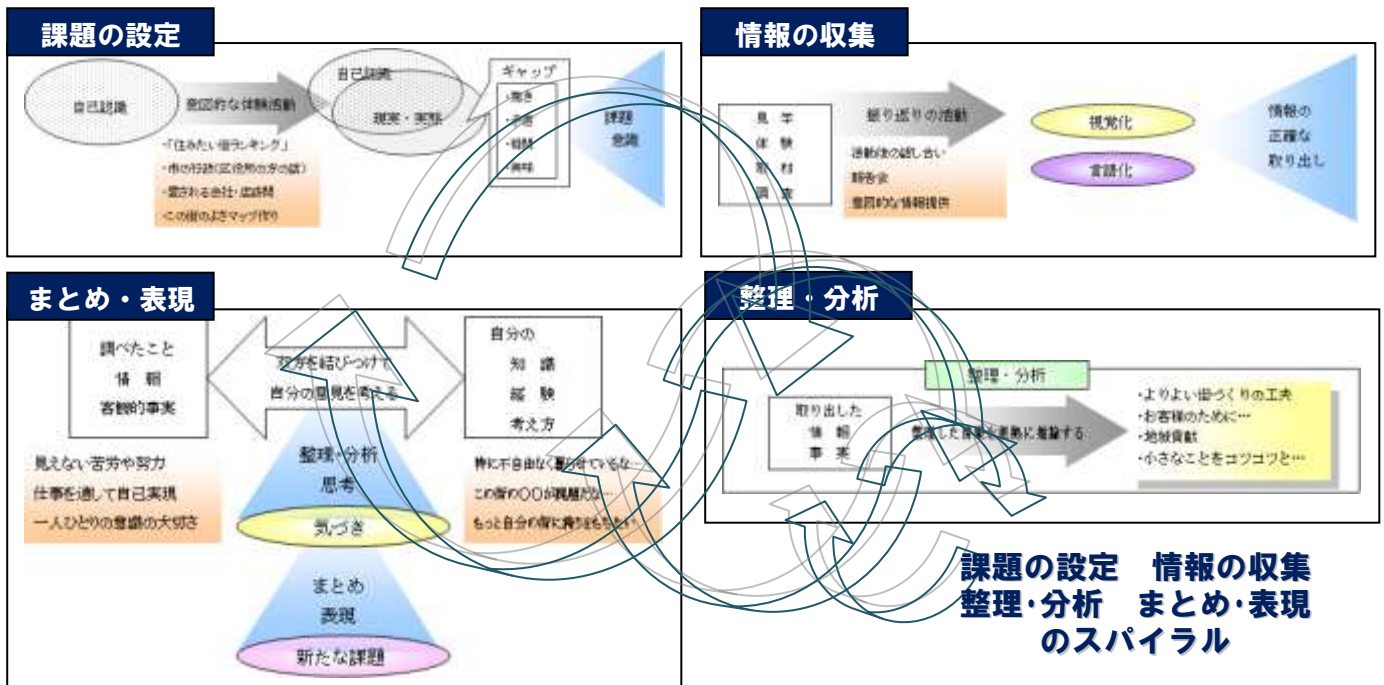
研究主題

自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成
身近な「ひと・もの・こと」とかかわり合いながら、自己の生き方を考える子をめざして

研究の視点1：気づき・発見・かかわりと繰り返しを意識した単元計画の構成と「ひと・もの・こと」を意識した地域の教材開発

手立て① 探究的に積み上げる単元計画の工夫

- 自分たちの住む町、さいたま市のよさを探す課題から、「ひと」にかかわりながら、子どもの気づきの質を高めるような指導を繰り返す単元計画を作成することで、徐々に自己の生き方を考えられるようにする。



手立て② 「ひと・もの・こと」と地域に意図的にかかわらせる工夫

- 地域連携コーディネーターを中心に、ゲストティーチャーの方の地域への思いが伝えられるように綿密な打ち合わせを行うことで、児童が学びやすい環境をつくる。
- 「地域のよさ」「地域への思い」という視点で、課題意識をもちながら、周りの人とかかわり、自分の思いを深められるようにする。また、地域をよりよくするために、地域で具体的に行動したり、地域の方から評価をいただいたりする機会をつくることにより、児童と地域のかかわりを豊かにする。

研究の視点2：「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」場面における子どもにつけさせたい力（目標）の明確化と指導・評価の工夫

手立て③ 課題解決をするための資質や能力を高める指導の工夫

- 単元の評価規準に「育てたい資質や能力及び態度」を明らかにして指導することで、児童の気づきの質を高める。また、単元の指導計画の中に、資料を分類したり、まとめたりする活動を繰り返して行うことで、思考の仕方を具体的に学べるようにする。

手立て④ 自己の生き方につながるまとめと評価の工夫

- 児童が他教科で学習した資料の集め方、分析の仕方、まとめ方などを活用して、情報を共有し、学び合う学習を通して、自己の生き方について考え、深められるようにする。
- 最後に取材に協力してくれた人や家族を招いて報告会を開き、本学習によって成長した姿や思いを伝える場を設定することで、この社会を主体的に生きていこうとする姿勢や決意がもてるようにする。

4 単元の目標

- 地域のよさを知る活動を通して、街に対する人々の思いや願いに気付き、社会の一員として自己の生き方を考えることができる。

5 単元の評価規準

育てたい資質や能力及び態度	学習方法に関する事	【①課題設定 ②収集分析 ③思考判断 ④表現省察】 ①自分の生き方について関心を持ち、人との出会いや資料などから感じたことと今の自分を比べ、課題を見つける。 ②課題解決のために、様々な方法で必要な情報を集めることができる。集めた情報を分析すること事実や関係を把握することができる。 ③多様な情報の中の特徴、本質的な問題などに気付く。 ④集めた情報を、相手や目的に応じて分かりやすくまとめて、伝えることができる。
	自分自身に関する事	【⑤意思決定 ⑥計画実行 ⑦自己理解 ⑧将来展望】 ⑤様々な人との出会いやふれあいを通して、気付いたことから、人のためになりたいという思いを持つことができる。 ⑥人のために、自分たちができることを計画し、実践することができる。 ⑦様々な人との出会いやふれあいを通して、自分のよさや自分らしさに気付き、自分の力でも、いろいろなことができることを知る。 ⑧自己の将来を考え、夢や希望を持つことができる。
	他者や社会との関わりに関する事	【⑨他者理解 ⑩協同 ⑪共生 ⑫社会参画】 ⑨地域で働いている方の、仕事にける思いを理解することができる。 ⑩⑫仲間と協力しながら、自分たちで人のためにできることを実践していくことができる。 ⑪地域のために、自分にできることを考え、生活しようとする事ができる。

6 単元の全体構想（52 時間扱い）※本時案の後に記載

7 A 本時の活動計画（14 時間／52 時間）

授業者： 6年4組 担任 後藤正憲

(1)ねらい

- ・会社探検やゲストティーチャーの方のお話で大事だと感じたものを書き出し、整理・分析することで、会社が地域から評価されるために何を大切にしているのかを考えることができる。

(2)評価の観点

- 会社探検での調査活動や、ゲストティーチャーの方のお話で大事だと感じたものを書き出し、整理・分析することができる。 **【収集・分析】**

- 会社が地域から評価されるために何を大切にしていってよいかを、考えることができる。

【思考・判断】【他者理解】

(3)展 開

学習活動・内容	評価(◇)と評価方法[] 指導・支援(○)	時間
1 これまでの学習活動を振り返る。 ・探検報告会の振り返り ・ゲストティーチャーの話の想起	○仕事や店舗の工夫などに関する象徴的な写真を掲示しておき、キャプションで会社の取り組みが振り返れるようにしておく。 ○前時までの児童の感想をつかんでおき、児童の言葉で調査してきたことを確認するようにする。	5

2 本時の課題を確認する。	○ゲストティーチャーの方の写真や、会社の概要、お話の際の板書などを掲示し、児童が前時の話を想起しやすいようにしておく。	
3 小グループで、これまで調べてきたことの要点を付箋に書く。 ・情報の取り出し	前時まで得た情報から、会社がどのようにして地域で愛されるようになったのかを分析してみよう。	5
4 付箋に書かれた内容を整理し、まとめごとに小見出しを付ける。 ・KJ法による情報の整理・分析	○店が長く続いている理由、地域から評価され続けている理由を探っていくという目的がぶれないように、課題を示し、共有させる。 ○会社の工夫・努力・苦勞・思い・願いなど、これまでの活動を通して得た情報を付箋に書かせることで取り出していく。意見が止まってしまうグループには、掲示物や黒板などから、想起するように声をかける。 ◇ゲストティーチャーの話から、重要なことをできるだけ書き出すことができる。[観察・ワークシート] ○情報の整理・分析をする上で、情報の落ちが少なくなるよう、6人のグループを作り、情報量を増やす。 ○情報の整理の仕方について全体の前で手順を示し、活動の見通しがもてるようにする。	15
5 小見出しを整理・分析することで、会社の思いに気づく。 ・会社の人たちの思いや願い	○机間指導で「これは〇〇のためなんだね」など、情報の価値付けを行い、付箋の類型化の仕方、適切なタイトルの付け方を支援しながら、全員で取り出した情報を解釈していくようにする。 ○各グループの小見出しを黒板に貼らせながら分類・整理し、気付いたことや疑問に思ったことを発表させ、一般化していく。 ○話を聞く前の自分たちの予想と比べ、意外だという意見がでた場合には、なぜ意外なのか理由を問うことで、今まで気づけなかった会社で働く人々の思いに気づくことができるようにする。 ○相互の意見交換の中から、児童の気づきを取り上げ、思考を整理していくようにする。	7
6 小見出しの中から大切だと思うものを3つ選び、私が「これだけは大事にしたい！」3つのポイントを考える。	お客様へのサービス 地域とのかかわり 経営理念 仕事のモットー(目標) 社員の心がけ・意識	10
7 本時の活動の振り返りを行う。 ・学習感想 ・次時の活動の確認	○自分であつたら何を重視するかという評価をさせることにより、本時の課題を主体的に捉えさせるようにする。 ○表面的な思考にとどまらないよう、ワークシートには「なぜそのポイントを選んだのか」理由を書かせ、自分が共感・納得できたことや自分が大切にしたいことが見えるようにさせる。 ◇自分が、働いていく上で大切にしたいことについて、考えることができる。[ワークシート] ○学習感想を書かせ、感想を発表させることで、本時クラス全員で獲得した気づきを広める。 ○本時で分析したことが、他の会社や店でも同様に考えられているのかどうか、次時以降で探っていくことを告げ、調査活動に意欲をもたせるようにする。	3

7 B 本時の活動計画 (15 時間/52 時間)

授業者: 6年1組 担任 森 真理子

(1)ねらい

- ・前時までにまとめたことから、他のお店や会社が地域から愛されるために何を大切にしているのかを調べようと、自分の課題をもつことができる。

(2)評価の観点

○前時までのまとめから、他のお店や会社が地域から愛されるために何を大切にしているかを予想し、課題設定できる。 【課題設定】

○他のお店や会社について調べ方を確認にし、見通しをもつことができる。 【課題設定】

(3)展 開

学習活動・内容	評価(◇)と評価方法[] 指導・支援(○)	時間
1 これまでの学習活動を振り返る。 ・前時までのまとめ、自分の思いの想起	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> お客様へのサービス 地域とのかかわり 経営理念 仕事のモットー(目標) 社員の心がけ・意識 </div> ○前時までの児童の感想をつかんでおき、児童の言葉でまとめたことを確認するようにする。 ○ゲストティーチャーの方の写真や、会社の概要、お話の際の板書などを掲示し、児童が前時の話を想起しやすいようにしておく。	10
2 本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 地域のお店や会社で、地域で愛されているのはどうしてなのかを調べよう。 </div>	
3 小グループで、会社の工夫・努力・苦勞・思い・願いなどを予想し、短冊に書く。	○ゲストティーチャーの方以外のお店や会社の方も、同じ思いで地域を支えているのではないかという予想のもと、自分の課題を見つけるようにさせる。 ○地域のお店や会社を想起し、長く続いている理由、地域から評価され続けている理由をまとめから予想し、課題を考えさせる。 ○グループで出た意見を短冊になるべく多く書くようにする。意見が止まってしまうグループには、掲示物や黒板などから、想起させる。 ○資料として、「仲町小の110番」の資料を掲示し、地域のお店や会社を想起させるようにする。 ◇会社の工夫・努力・苦勞・思い・願いなど、をできるだけ書き出すことができる。[観察・ワークシート]	15
4 調べ方を出し合い、確認する。	○相互の意見交換の中から、国語の学習などを生かして、学び方を整理していくようにする。(アポイントメントの取り方、取材の仕方など)	7
5 自分の課題を決め、計画を立てる。	○調べ方の手順を確認することで、活動の見通しがもてるようにする。 ○前時の「大事にしたいポイント」から、自分の課題として、主体的に捉えさせるようにする。 ◇前時の「大事にしたいポイント」から、自分の課題を立てることができる。[ワークシート]	8
6 本時の活動の振り返りを行う。 ・学習感想	○学習感想を書かせ、感想を発表させることで、気づきを広める。	5

この街の歴史、そしてこれから

さいたま市は住みよい街ランキング県内第一位

すごいな。そんなに評価されているんだ。でも、さいたま市のよさって？

さいたま市のよさって何だろう。調べてみよう。

交通の便、お店の数、イベント、公共施設、交通事故が減っている、文教都市、自然との共生… 等

海も山もなくして何にもないと思っていたけど、さいたま市って結構すごいだね。

さいたま市のよさって、誰がつくったのだろう。

さいたま市のよさをつくっているのは、「公」「私」「公と私の両方」の人たちなんだ。一体どんな思いでよさをつくっているのかな。

市役所(公)の方のお話

地域の住民の願いをかなえるために、努力してくれているんだ

より快適で住みやすい街づくりを考えてくれているから評価されているんだ。

地域に根付く会社(私)の方の話

お客さんのためを考えて努力してくれているんだ。そのおかげでお店は長く続いているんだ。

人のためを考えて働くことが、自分のため(利益)にもつながるんだ。

では、ボランティアで働いている人の思いって？特に利益や収入はないのに、どうして続けているのだろう…

ボランティアの方は、なぜ地域のために働いてくれているのだろう。

区民会議の方のお話

住民の意見をまとめて、市に提言してくれているんだ。実現した提言もあるんだね。

この街に住む人たちが安心して幸せに暮らせることを目指してくれているんだ。

人の役に立つこと、そして人に喜んでもらえることが一番うれしいと言っていたね。

お金ではなく、自分たちが暮らす街をよりよくしていきたいという思いはすてきだな。

できることには限りがあるかもしれないけど、なにか自分たちにできることはないかな？

地域をよりよくしていくために、どんなことをしたらよいかを考えてみよう。

- ・あいさつあふれる街にしたいから、あいさつ運動をしてみよう。
- ・街をよりきれいにすることはできないかな。
- ・高齢者の方と、何か楽しめることを考えてあげられないかな。
- ・仲町小学校をよりよくすることも、地域をよりよくすることにつながるかもしれない。等

自分たちに今できること、どんなことならできるかな？

地域をよりよくしていくために、自分たちでできることをしてみよう。

友だちと協力して取り組んでみよう。地域の方々と一緒に取り組んでみよう。

自分たちの力で、こんなことができるんだ。これからも続けていきたい。

「ありがとう」って言ってもらってうれしかったな。

地域をよりよくしていくために、自分たちが考えたことやしてきたことをまとめ、発表しよう。

この街をもっともっと良くしていきたいな。

自分がなりたい大人像が見えてきたよ！

地域や人のために力を尽くすことはすばらしいことだね。

今まで支えてくれた方々に感謝の気持ちを伝えたいな。

人が喜んでくれるのってうれしいな。身近なところからいろいろな活動に組み込みたい。将来は、私も誰かの役に立てる人になりたいな。

働くことの意味について考えることができた。人のために行動することが、自分のためになるということを知ることができた。

ふ
れ
る

っ
か
む

さ
ぐ
る

ひろ
める